

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)

【公表番号】特表 2010-533318 (P2010-533318A)
 【公表日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-042
 【出願番号】特願 2010-516978 (P2010-516978)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/01

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 9/08 3 9 1

G 0 3 G 15/01 J

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

受像体への隆起多次元トナー形状の静電記録式印刷方法であって、前記印刷は、

a . 所定の多次元形状を形成する所定の粒子特性を有する所定サイズのマーキング粒子を利用して、トナーの第 1 層を付着させるステップと、

b . 所定の多次元形状を形成する所定の粒子特性を有する所定サイズのマーキング粒子を利用して、トナーの第 1 層を基準にトナーの第 2 層を付着させるステップと、

c . 前記第 1 層の多次元形状を、前記第 2 層の多次元形状に対して位置合わせして、位置合わせパターンを基準に最終的な多次元形状を生成するステップと、

d . 前記最終的な多次元形状を形成するのに必要な分だけステップ a から c を繰り返すステップと、を含む方法。

【請求項 2】

前記粒子特性は、耐久性、透明度、色、形態、表面粗さ、平滑性、屈折率、トナーの粘度、濃度、表面張力、ガラス転移温度 (T g) または融点のうちの一つ以上を含む、請求項 1 に記載の静電記録式印刷方法。

【請求項 3】

前記マーキング粒子の特定のサイズ分布は、前記第 1 層についての 6 ~ 12 μ m の体積平均直径と、前記第 2 層についての 12 ~ 30 μ m の体積平均直径とを含む、請求項 1 または 2 に記載の静電記録式印刷方法。

【請求項 4】

前記マーキング粒子の特定のサイズ分布は、前記第 1 層用のプリンタで取得できる程度に小さい第 1 体積平均直径と、前記第 1 体積平均直径より大きい、前記第 2 層の形状についての第 2 体積平均直径とを含むことで、前記最終的な所定の多次元形状を付与する、請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の静電記録式印刷方法。

【請求項 5】

前記最終的な所定の多次元形状は、少なくとも 20 μ m のマーキング粒子積み重ね総高

さを有し、最終的な所定の多次元形状は周期的パターンを含む、請求項 1 に記載の静電記録式印刷方法。

【請求項 6】

トナーの前記第 1 層と前記第 2 層との間に中間層を更に含む、請求項 1 に記載の静電記録式印刷方法。

【請求項 7】

前記最終的な所定の多次元形状は、所定の屈折率を有する楕円形または円形の特性のうちの一つを含む、請求項 1 から 6 のいずれか一つに記載の静電記録式印刷方法。

【請求項 8】

a . 画像形成部材と、

b . 所定の多次元形状を形成する所定の粒子特性を有する所定サイズのマーキング粒子を利用して、トナーの 2 つ以上の層を付着させる現像ステーションと、

c . 第 1 層の多次元形状を、第 2 層の多次元形状に位置合わせして、最終的な多次元形状を形成する位置合わせ装置と、

d . 前記最終的な多次元形状を形成するように、各層の塗布を制御する制御装置と、

e . 前記最終的な所定の多次元形状を処理して、前記最終的な所定の多次元形状の追加特性を付与する処理装置と、を含む受像体上にトナー画像を形成する静電記録式印刷装置